



2022年度 一般社団法人 大学女性協会 主催 公開シンポジウム

教育・ジェンダー・共生

～ ユースの視点から見直そう これからの日本 ～

日 時：2022年10月22日（土）10:30～16:00

開催形式：対面（定員70名）+Zoom（定員100名） 事前申込制

対面会場：エッサム神田ホール2号館6階・中会議室1

申込方法：Google フォーム <https://forms.gle/Ziuk4mFLrBokRhBN8>

または E-mail：jauw@jauw.org または Fax：03-3358-2889

参加申込締切（厳守） 2022年10月15日（土）

参加費：1,000円（対面、Zoomとも。学生は無料）

昼食 1,000円（ご希望の方はお申し込みください）

振込期限 10月17日（月）

※ 振込先・申込・問合せ先・会場地図などは裏面をご覧ください。



開催趣旨

コロナ下の生活が始まって3年目を迎え、いろいろな問題が顕在化しています。そのような中で開催する今年度のシンポジウムは「教育・ジェンダー・共生」を主要なテーマとして「ユースの視点から見直そう これからの日本」という課題に取り組みます。基調講演は、ながらく若者に寄り添い、若者の就労や学習支援に関わっておられる津富宏氏にお願いしました。パネリストは若手研究者、大学教員、大学生の方がたです。それぞれの立場から、現在の活動内容、現代社会が抱えている問題、自分にとっての課題などをお話していただきます。

大学女性協会はずねに「教育・ジェンダー・共生」の視点を踏まえ、社会の変革を担う女性リーダーの輩出を願って活動してきました。シンポジウムでは、ユースの声に耳を傾け、ユースの力を日本の未来に活かし、よりよい社会を実現するために何が必要かを一緒に考えたいと思います。課題解決に向け、私たち一人ひとりの力は微力でも、ネットワークを広げて繋がることで大きな力になります。シンポジウムが一步を踏み出すきっかけになることを願っています。

プログラム

| | | | | |
|-------------|-----|--------------------------|----------|---------------------------|
| 10:30～10:40 | 開会 | 挨拶 | 会長 岩村道子 | |
| 10:40～12:10 | 第一部 | 基調講演「ケアしあう社会をつくる」 | 津富宏 | 静岡県立大学 教授 |
| 12:10～13:10 | | 昼食・休憩 | | |
| 13:10～15:50 | 第二部 | パネルディスカッション | ファシリテーター | 企画委員長 中道貞子 コメンテーター 津富宏 |
| | | ・「安心して私生活と両立できる研究環境とは」 | | 一原雅子 |
| | | ・「子どもの貧困と養育費の確保について」 | | 宮下摩維子 |
| | | ・「誰もが学び続けるために～私たちの活動報告～」 | | 佐藤美帆・松浦旦周 |
| 15:50～16:00 | 閉会 | | | |

基調講演者のプロフィール

津富 宏

(静岡県立大学 国際関係学部国際関係学科 教授)



内容：多くの人々が生き辛さをかかえる中、私たちは支えあうこと、助けあうこと、ケアしあうことが求められている。ケアしあえる社会にどのように向かうか、そのための取り組みと方向性について考えたい。また、女子学生など女性の置かれている立場に目を向けてみて気づくことについても触れたい。

略歴：東京大学教養学部教養学科卒業、ウィスコンシン州立大学社会学部修士課程修了、少年院などの勤務を経て、現在、静岡県立大学教授。NPO 法人「青少年就労支援ネットワーク静岡」顧問。著書に「若者就労支援『静岡方式』で行こう!!」(クリエイツかもがわ)など

パネリストのプロフィール

一原 雅子

(総合地球環境学研究所 京都気候変動適応センター研究員 京都支部会員)



内容：育児とキャリア構築双方を目指す若手研究者たちは、公私ともに焦りや不安なく豊かな生活を送ることを願っている。研究に没頭できる研究員を想定した現在の研究者評価の在り方を見直す必要があるのではないかと報告では研究対象である気候変動問題にも触れたい。

略歴：東京大学法学部政治学研究科法曹養成専攻修了、京都大学大学院地球環境学舎博士後期課程修了(地球環境学博士)。第14回スミセイ女性研究者奨励賞受賞。三児の母

宮下 摩維子

(駿河台大学 法学部 助教 東京支部会員)



内容：日本の子どもの貧困率、特にひとり親世帯のそれは非常に高い。子どもの貧困問題は教育格差を生み、大きな社会的損失である。その一因として挙げられる未払い養育費の回収を軸に、社会がこの問題にどう取り組むべきかについて問題提起をしたい。

略歴：早稲田大学法学部卒業、同大学院修士課程を経て博士課程単位取得満期退学、ロンドン大学(UCL)LLM 修士課程修了。コロンビア大学、首都大学東京などを経て現職

佐藤 美帆 松浦 旦周

(静岡県立大学 看護学部 2年生 「学生助けたいんじゃー」メンバー)
(静岡県立大学 国際関係学部 3年生 「学生助けたいんじゃー」メンバー)



内容：私たち学生有志で立ち上げた「学生助けたいんじゃー」は、大学生が貧困で学びを諦めることなく、大学で学び続けられるためのさまざまな活動を行っている。その一つは学生ボランティアセンターが実施している「たべものカフェ」での食料支援とヒアリングへの協力である。活動を通して見えてくる学生の現状を社会に向けて発信していることについても報告する。

アクセス

エッサム神田ホール 2号館

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-24-5 Tel : 03-3254-8787

JR 神田駅 東口・北口・西口 徒歩 2分

東京メトロ銀座線 神田駅 4番出口 徒歩 2分



申込・問合せ先

- 定員(対面70名+Zoom100名)になり次第、締め切らせていただきます。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申込のみとさせていただきます。
- Google フォーム、E-mail、または、Fax からお申し込みください。
- Zoom 参加ご希望の方は、Google フォームからお申し込みください。参加費の入金を確認後(除 学生)、10月20日までに、Zoom の URL をお知らせいたします。
- 参加費の振込は、専用の振替用紙、または、以下に直接送金(振込手数料・現金取扱料が必要な場合は各自ご負担)ください。

ゆうちょ銀行 記号番号 00110-7-323298 (他銀行から 当座 〇一九店 323298) 一般社団法人 大学女性協会

- 入金後にキャンセルの場合は、参加費(含 昼食代)を返金できませんので、ご了承ください。

一般社団法人 大学女性協会 〒160-0017 東京都新宿区左門町 11 番地 6 パトリシア信濃町テラス 101

URL : <https://www.jauw.org>

Tel : 03-3358-2882 (月火木金 11:00~15:00 除 夏休み)

当日の緊急連絡用 携帯 : 070-2319-6742

Email : jauw@jauw.org

Fax : 03-3358-2889